



テーマ：私の理想の北野暮らし

北野地区ならではの理想の暮らしを考えよう！

【全世代を通じて】

■公民館活動がキーワード！

公民館活動は地区での暮らしを充実させるキーワード。関わり始める時期は、それぞれのライフプランによるが、もともと住んでいる方と新たな住民が顔を合わせて話すきっかけがなかなかないなかで、公民館の企画と参加するきっかけづくりが1番の解決手段となり得る。「人と話すことの楽しさ」を感じる機会。

■地域づくりの担い手育成が必要！

地域との関わりや住民の声を届ける役割として町内会が役割を担っているが、担い手不足や若年世代の関心不足により、衰退していく恐れがあるため、改めて町内会の活性化や再構築に向けた取り組みが必要。

■何より住んでいる町民の満足度を高める取り組みが必要

【子ども期】

■子どもが企画して実現するイベントを開催

地域の大人の思い「子どもの頃から町内会活動に関わりや理解を持ってほしい」を実現する手段として、子どもが参加する行事（公民館・町内会）を大人が企画するのではなく、子ども自身で企画する試みがあると良い。子どもが企画して、大人は運営を手伝う。自分たちが参加して楽しめる企画を、子ども自身で考えて実現するという経験。例えば、地区では北野の神社祭の復活を大人が仕掛けているので、そことつなげて実現させることが良いのではないか。町内会の役員を高校生が担っている例もあるようだ。

■少年団や部活動！地域人材を生かして文化系の部活動ができると良い！

少年団や部活動は経験として必ずやってほしい。だが、最近に入っていない子ども多い。昔より親の負担が増えたり、未経験者が取り組みづらいような背景もあるようだ。部活動に入りやすい支援や環境づくりがあると良い。また、中学校は文化系の部活がなく、スポーツの苦手な子の選択肢が少ないことも改善されると変わるのでは。（地区の資源探しでは、地域で文化活動をしている「ヒト」が多く発表されていたが、部活とはつながらない）

■大きなイベントが同世代をつなげる役割を担う

幼児から小学生までは地域行事や少年団クラブへの関わりが多い。高校生へと上がるにつれ、地域との関わりが薄れてくる。また、進学に伴い転出する人も多い。そんな中でも熱夏フェスタやはたちのつどいは同級生と会える貴重な場であり、つながりを維持するための場になっている。

【青年期・子育て期】

■子育て環境の充実に向けて地域と行政が連携する

行政や地域と連携し、多様な子育て環境の整備に尽力をする。子育て環境を整備することにより、魅力のあるまちとなり、子育て世代の定住につながる。また、自身の子どもとともに地域との関わりが増えてくる。

■子どもの活動を通じた保護者同士のつながりからコミュニティを形成

育成会、PTA、少年団活動での新たなコミュニティが形成される。

■シェアリング

色々なものがシェアリングできる仕組みがあると、暮らしが充実できそう

【子育てがひと段落した頃】

■夢が実現するための支援

カフェや雑貨店などを開いてみたいという夢が叶う環境、支援があると良い。地域にないものが実現できるとまちの魅力としても良いと思うが、地域の人ほど利用してもらえるのだろうか。町内には小さな店も多いが、町民が知らなかったり、行ったことがないことも多いと思うので、そうしたお店を知ってもらう・行ってもらう機会づくりの支援があると良い。

■地域活動へ参加するきっかけづくり

子どもたちが巣立ち、この頃から家庭菜園や趣味など自分の好きなことに取り組む時間が持てるようになる。地域のサークル活動と自分の趣味が合致すれば、地域とつながりを持つことができるため、1日体験などのきっかけづくりが有効では。

■子育てデザイナーとして活躍

子育てに携わってきたことから、『子育てデザイナー』として、地域の子育て世代の相談役を担う。

【シニア期】

■びんぴんころりを目指して～農作業が元気の源

畑作業に関心を持つ人が多いなか、北野地区は身近に畑があり、さらに教えてくれる元気なお母さんたちもいる。畑デビューに最適な環境。また、農業者は、農業の仕事そのものが元気の源！！

■びんぴんころりを目指して～ウォーキングマップを住民企画で作成！

健康づくりでウォーキングに取り組む人が多いなか、より楽しめるちょっとした工夫として、ウォーキングマップや看板などがあると良い。町がつくるのではなく、実際に取り組んでいる町民で企画して作り、町が費用などを支援するかたちで実現したい。

■農業のまちの環境を生かして自給する分の家庭菜園を手がける

農業のまち鷹栖町として、農業者以外でも自分たちの分は自分たちで作れる仕組みづくりをすることにより、まちのPRポイントとする。

■起業デザイナー

町内で夢を実現する（例：カフェ出店）の先駆者となったことから、同じ目標を持った人へアドバイスを『起業デザイナー』として、地域の活性化に寄与する。

■子どもの見守りなど地域と関わりを持ちたい

高齢になっても在宅で元気に暮らし続けるために、社会的役割を担いたい。